

令和4年9月1日

自由民主党秋田県支部連合会
会長 御法川 信英 様

秋田県看護連盟

会長 草薨 真子

公益社団法人秋田県看護協会

会長 白川 秀子



新型コロナウイルス感染症対応病院の現状と行政への要望について

県内では、新型コロナウイルス感染症の第7波による爆発的な感染拡大が続いています。そこで、秋田県看護連盟は県内の医療・看護の現状について、8月に「現場の声」として、聞き取り調査を実施いたしました。

その結果、想定以上に現場は逼迫・疲弊し、極めて厳しい状況にあることがわかりました。秋田県看護連盟としては、この現場の混乱を少しでも緩和できないものかと検討を重ね、秋田県看護協会とともに、秋田県の行政機関へ要望致します。

【要望1】

県民が医療機関に適切な受診ができるよう整備していただきたい。

1. 24時間コールセンターの自動音声システムの導入
2. 県民への新型コロナウイルス感染症に対する「教育的広報の強化」と「継続的教育活動」の発信
3. 県内全域にわたり発熱外来の開設
4. 新型コロナウイルス感染症陽性証明の方法の検討

【要望2】

看護職員の労働環境の改善と、県民が医療状況を正しく理解出来るような広報活動を展開していただきたい。

1. 秋田県知事から医療従事者に向けた「エール」の発信
2. 冷却グッズの支給
3. 看護職への慰労金等の支給
4. 県民が医療現場の現状を理解できる情報の公開